

○仙台・宮城北部森林管理署の「製品生産事業現地検討会」に参加しました。

青森事務所では毎年、各森林管理署等の採材現地検討会に参加し、技術指導や情報提供などを行うことで、国有林材を円滑・効果的に活用するように努めています。

令和元年7月26日(金)に宮城北部森林管理署管内の栗原市切留山国有林で開催された現地検討会に、青森事務所から3名が参加してきました。

当日は曇りがちですが蒸し暑い天候のなか、仙台署と宮城北部署の請負事業体ほか林業関係団体、宮城県及び森林整備センターの林務担当者など参加者約80名による検討会でした。初めにスギ3本と広葉樹(イヌブナ・カツラ)2本の供試木の採材について、各班にそれぞれ分かれて検討した後、全体で採材の考え方について意見交換を行いました。また署の担当者から生産歩留まりの向上を図る取組として、造材する長級を単純化することで林地残材を限りなく無くし生産歩留まりの向上を図る取組・森林作業道の適正な作設についての説明も行われました。

青森事務所からは最近の販売状況を踏まえた採材の指導及び情報提供と、最後に労働災害対策を含めた講評をさせていただきました。

青森事務所では今後も国有林材の有効な資源活用に貢献していきたいと考えています。

